

令和2年度 鹿屋市市政モニター アンケート結果

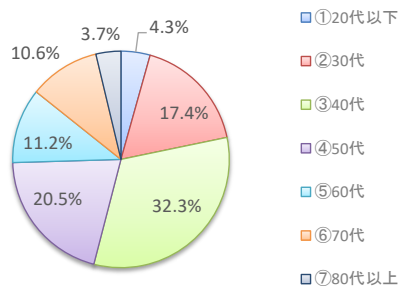
○テーマ：鹿屋市の茶業について

○調査期間：令和2年10月6日（火）～令和2年10月19日（月）

○回収結果：送付数：200人、回答数161人、回答率80.5%

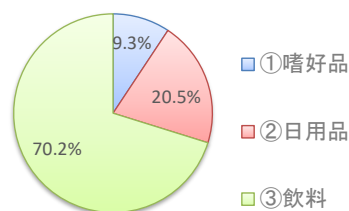
Q1：年代

回答	件数	割合
①20代以下	7	4.3%
②30代	28	17.4%
③40代	52	32.3%
④50代	33	20.5%
⑤60代	18	11.2%
⑥70代	17	10.6%
⑦80代以上	6	3.7%
合計	161	100.0%



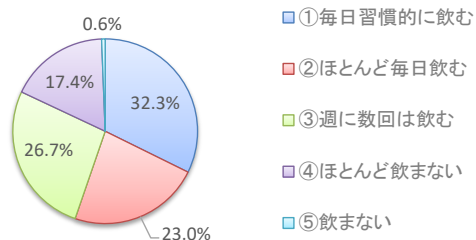
Q2：緑茶への認識

回答	件数	割合
①嗜好品	15	9.3%
②日用品	33	20.5%
③飲料	113	70.2%
合計	161	100.0%



Q3：緑茶を飲む頻度

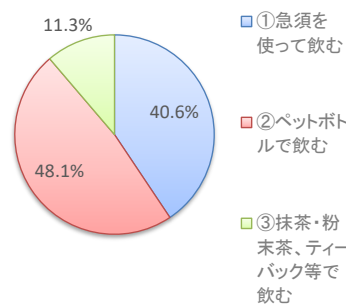
回答	件数	割合
①毎日習慣的に飲む	52	32.3%
②ほとんど毎日飲む	37	23.0%
③週に数回は飲む	43	26.7%
④ほとんど飲まない	28	17.4%
⑤飲まない	1	0.6%
合計	161	100.0%



Q4：緑茶の利用形態（主要なもの）

回答	件数	割合
①急須を使って飲む	65	40.6%
②ペットボトルで飲む	77	48.1%
③抹茶・粉末茶、ティーバック等で飲む	18	11.3%
合計	160	100.0%

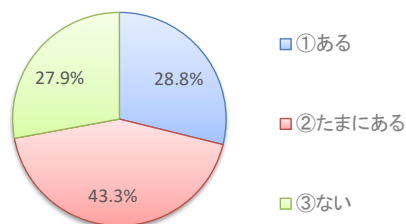
※未回答1名



Q5: Q4で②③の方。急須で茶葉からお茶を飲むことがありますか

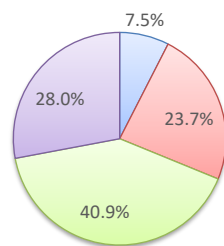
回答	件数	割合
①ある	30	28.8%
②たまにある	45	43.3%
③ない	29	27.9%
合計	104	100.0%

※81.3%(急須を所持し、利用する率：Q4①+Q5①②)



Q6: Q4で②③の方。急須を使わない理由は？【複数選択可】

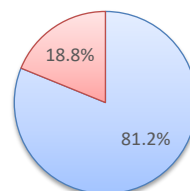
回答	件数	割合
①急須を持っていない	7	7.5%
②洗い物が増え、茶ガラが出るのが嫌だ	22	23.7%
③急須を使うのが面倒くさい	38	40.9%
④その他（自由にお書きください）	26	28.0%
合計	93	100.0%
④【主な意見】		
<ul style="list-style-type: none"> ・急須で入れられる量が多い（少ない） ・ペットボトルが便利 ・冷たいものを主に飲むから（フィルター付き掃除も楽） ・冬場は使う 		



- ①急須を持っていない
- ②洗い物が増え、茶ガラが出るのが嫌だ
- ③急須を使うのが面倒くさい
- ④その他（自由にお書きください）

Q7: Q4で①②の方。抹茶や粉末茶、ティーバック等を利用したいと思いますか

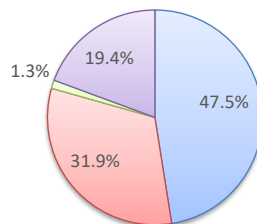
回答	件数	割合
①利用したい	112	81.2%
②利用したくない	26	18.8%
合計	138	100.0%



- ①利用したい
- ②利用したくない

Q8: 安全面で緑茶に求めているものは何ですか

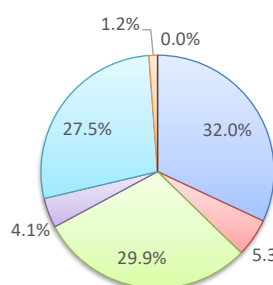
回答	件数	割合
①有機栽培	76	47.5%
②低農薬栽培	51	31.9%
③慣行栽培（農薬通常使用）	2	1.3%
④ない	31	19.4%
合計	160	100.0%



- ①有機栽培
- ②低農薬栽培
- ③慣行栽培（農薬通常使用）
- ④ない

Q9: 健康面で緑茶にもとめているものは何ですか【複数選択可】

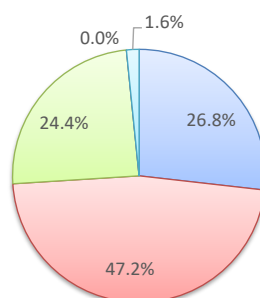
回答	件数	割合
①水分補給	108	32.0%
②目覚まし効果	18	5.3%
③リラックス効果	101	29.9%
④ダイエット効果	14	4.1%
⑤抗菌効果	93	27.5%
⑥ない	4	1.2%
⑦その他（自由にお書きください）	0	0.0%
合計	338	100.0%
⑦【主な意見】		
<ul style="list-style-type: none"> ・虫歯予防 ・アレルギーにより【紅ふうき】 ・水替わりに飲んでいる 		



- ①水分補給
- ②目覚まし効果
- ③リラックス効果
- ④ダイエット効果
- ⑤抗菌効果
- ⑥ない

Q10: 味覚的に緑茶にもとめているものは何ですか【複数選択可】

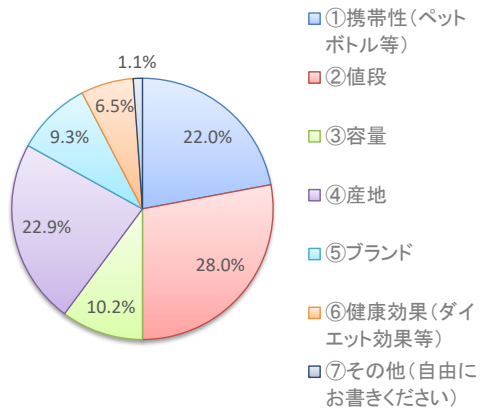
回答	件数	割合
①清涼感	67	26.8%
②うまみ・あまみ	118	47.2%
③苦み・渋み	61	24.4%
④ない	0	0.0%
⑤その他（自由にお書きください）	4	1.6%
合計	250	100.0%
⑤【自由記載】		
<ul style="list-style-type: none"> ・香りが良い ・和菓子に合う ・飲みやすさ 		



- ①清涼感
- ②うまみ・あまみ
- ③苦み・渋み
- ④ない
- ⑤その他（自由にお書きください）

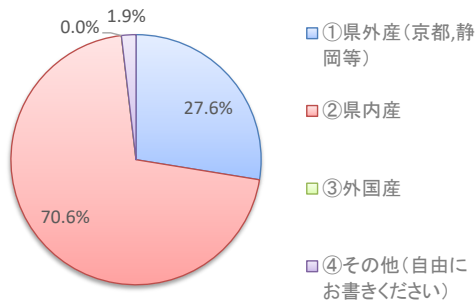
Q11:緑茶を購入する時に気にするポイントはどこですか【複数選択可】

回答	件数	割合
①携帯性(ペットボトル等)	78	22.0%
②値段	99	28.0%
③容量	36	10.2%
④産地	81	22.9%
⑤ブランド	33	9.3%
⑥健康効果(ダイエット効果等)	23	6.5%
⑦その他(自由にお書きください)	4	1.1%
合計	354	100.0%
⑦【自由記載】 ・味 ・種類(茶葉種類、加工)		



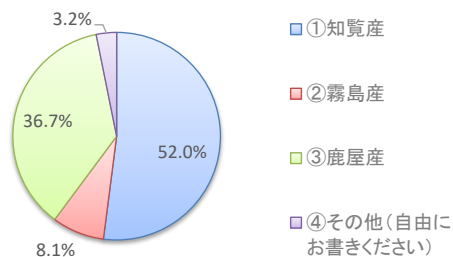
Q12:購入や贈答のときに良い印象を持つ産地はどこですか【複数選択可】

回答	件数	割合
①県外産(京都,静岡等)	59	27.6%
②県内産	151	70.6%
③外国産	0	0.0%
④その他(自由にお書きください)	4	1.9%
合計	214	100.0%
④【自由記載】 ・九州産		



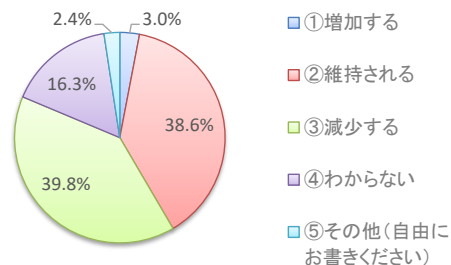
Q13:問12で②を選んだ方にお聞きます。県内で良い印象を持つ産地はどこですか【複数選択可】

回答	件数	割合
①知覧産	115	52.0%
②霧島産	18	8.1%
③鹿屋産	81	36.7%
④その他(自由にお書きください)	7	3.2%
合計	221	100.0%
④【自由記載】 ・志布志2, 錦江1, 県内(地元)4		



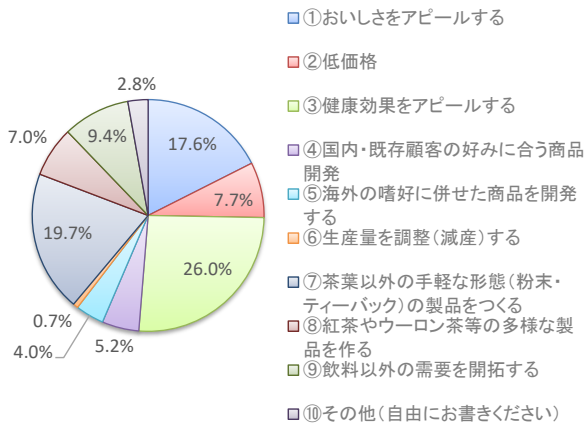
Q14:今後の緑茶の消費量について、あなたの予想を教えてください【複数選択可】

回答	件数	割合
①増加する	5	3.0%
②維持される	64	38.6%
③減少する	66	39.8%
④わからない	27	16.3%
⑤その他(自由にお書きください)	4	2.4%
合計	166	100.0%
⑤【自由記載】 ・良品は増、並品以下は減。 ・葉は減、ドリンクで維持。 ・飲料以外用途を見つけなければ厳しい。		



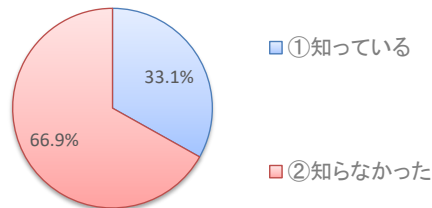
Q15:緑茶の消費拡大や振興に有効と考えるものを選んでください【複数選択可】

回答	件数	割合
①おいしさをアピールする	75	17.6%
②低価格	33	7.7%
③健康効果をアピールする	111	26.0%
④国内・既存顧客の好みに合う商品開発	22	5.2%
⑤海外の嗜好に併せた商品を開発する	17	4.0%
⑥生産量を調整(減産)する	3	0.7%
⑦茶葉以外の手軽な形態(粉末・ティーバック)の製品をつくる	84	19.7%
⑧紅茶やウーロン茶等の多様な製品を作る	30	7.0%
⑨飲料以外の需要を開拓する	40	9.4%
⑩その他(自由にお書きください)	12	2.8%
合計	427	100.0%
⑩【自由記載】 ・若者向け商品、パッケージの開発 ・飲みやすい商品、ティーバックの開発 ・料理との組み合わせ、レシピの開発等		



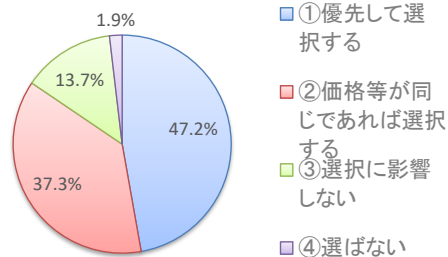
Q16:鹿屋が深蒸し茶の産地であることを知っていますか

回答	件数	割合
①知っている	53	33.1%
②知らなかった	107	66.9%
合計	160	100.0%



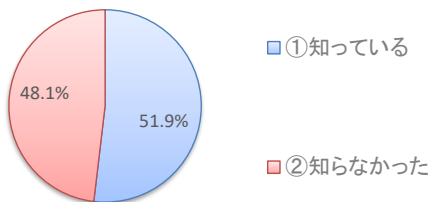
Q17:緑茶を買うときに鹿屋産の商品があった場合、選択に影響しますか

回答	件数	割合
①優先して選択する	76	47.2%
②価格等が同じであれば選択する	60	37.3%
③選択に影響しない	22	13.7%
④選ばない	3	1.9%
合計	161	100.0%



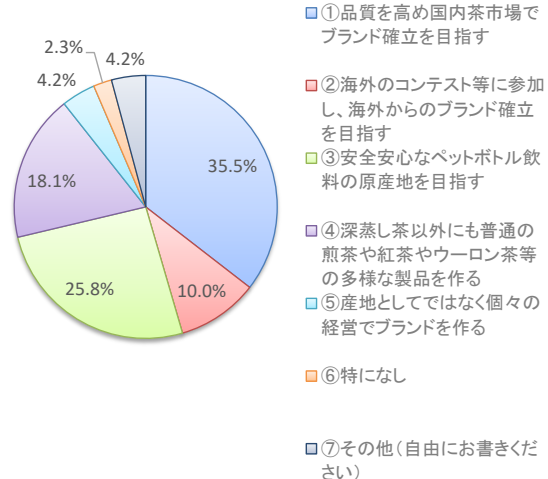
Q18:鹿屋の緑茶製品が購入できる場所を知っていますか

回答	件数	割合
①知っている	83	51.9%
②知らなかった	77	48.1%
合計	160	100.0%



Q19:鹿屋が茶産地として目指す方向で、あなたが適当と考えるものはどれですか【複数選択可】

回答	件数	割合
①品質を高め国内茶市場でブランド確立を目指す	110	35.5%
②海外のコンテスト等に参加し、海外からのブランド確立を目指す	31	10.0%
③安全安心なペットボトル飲料の原産地を目指す	80	25.8%
④深蒸し茶以外にも普通の煎茶や紅茶やウーロン茶等の多様な製品を作る	56	18.1%
⑤産地としてではなく個々の経営でブランドを作る	13	4.2%
⑥特になし	7	2.3%
⑦その他(自由にお書きください)	13	4.2%
合計	310	100.0%
⑦【自由記載】 ・深蒸し茶の特性をPR ・鹿屋オリジナルペットボトルラベル ・緑茶カフェ、商品化 ・ブランド確立		



Q20:鹿屋市の緑茶に関することについて、ご意見があれば自由にお書きください【主なもの】

<p>・鹿屋のお茶についてPRを強化したら良い</p>
<p>・毎日、深蒸し茶を飲んでいるので鹿屋産で低価格であれば購入したいです。鹿屋のスーパーなどにも出してほしい。</p>
<p>・手軽に作れて持ち運びができれば消費は上がると思う。若者へのアピールが大事だと思う。</p>
<p>・鹿児島は茶生産についてはトップクラスなのにアピール下手。鹿屋のお茶を色々な場所でアピールして知名度をあげた方がいい。</p>
<p>・お茶は冬場急須で夏場は麦茶、外出も水筒なのでペットボトルの緑茶もあまり買わない。粉末のスティックタイプは便利。若い人達にも受け入れられる様な商品開発が必要。</p>
<p>・青年部の方々が頑張ってる姿を見ている。海外でのアピールも良い事だと感じる。イベントの昼食時にお茶を提供してもらったり、販売したりしましたが大好評で完売していた記憶があります。</p>
<p>・飲食店などで出す。鹿屋産のお茶と一緒に出せばアピールできるのではないのでしょうか。学校給食で出す。お茶の給水器を学校・施設などに設置するのはどうでしょうか。</p>
<p>・お茶農家さんのいれるお茶は甘味があっておいしい。お茶のおいしさを広める場(試飲会)役所等で無料で提供できたらいい。</p>
<p>・鹿屋市というよりもチーム大隅で考えたらどうだろうか。</p>
<p>・鹿屋のお茶もおいしいが、お茶は歴史が古く国内(宇治)、県内(知覧)のブランドの牙城を崩すのは容易ではない。広告に金をかけてもどれほどの生産量拡大につながるか疑問。鹿屋市のお茶のペットボトルとして市内で販売し、消費量を増やすとともに、全国的にはコーラの厚労省推薦のトクホであるぐらいのインパクトがあればよいが。生産量を増やしたいなら、海外に斬り込むしかないのではないかと思います。中国でサントリーの冷たいウーロン茶がバカ売れしたのは文化にも原因があり(中国人は温かいお茶しか飲まない文化)、ヒントがあちこちにあるかもしれません。頑張ってください。</p>
<p>・霧島ヶ丘周辺などでお茶を作っているなあ…ぐらいしかイメージが無かった。鹿児島県内だけでも多くの産地があり、その中で上位でないのであれば上を目指すより独自路線を歩んでみるのもいいのではないかなと思う。現在独自のお茶は大手が占めているが、鹿屋産のダイエット茶などがあれば買うと思う。地元ではないが、ねじめびわ茶は高い頻度で購入をしているし財宝温泉に至っては全国でも抜群の知名度がある。コストも掛かるし簡単ではないのは分かっているが、もし出来たら面白いと思う。余談ですが焼酎の緑茶割りは美味しいと思うが焼酎の緑茶割りを缶で売り出されたら買うと思う。県内より関東とかの方が売れるかもしれないが。</p>
<p>・食材とセットで売ることにより国内外でマーケットを開拓することができる。豚や鳥肉とのコラボ。</p>
<p>・お茶にはビタミンCが入っていて風邪予防にもなり、抗菌や抗ウイルス成分があるとされているので、子供からお年寄りまでたくさんの人に飲んでもらいたいと思う</p>